

特許協力条約に基づく国際出願  
国際予備審査請求書

第 II 章

出願人は、次の国際出願が特許協力条約に従って国際予備審査の対象とされることを請求し、  
選定資格のある全ての国を選定する。ただし、特段の表示がある場合を除く。

国際予備審査機関記入欄

国際予備審査機関の施設		請求書の受理の日	
第 I 欄 国際出願の表示		出願人又は代理人の書類記号 P21651-PO	
国際出願番号 PCT/JP99/06590	国際出願日 (日. 月. 年) 25. 11. 99	優先日 (最先のもの) (日. 月. 年) 26. 11. 98	

発明の名称

画像処理装置

第 II 欄 出願人

氏名 (名称) 及びあて名: (姓・名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載)

松下電器産業株式会社 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.  
〒571-8501 日本国大阪府門真市大字門真 1006 番地  
1006, Oaza Kadoma, Kadoma-shi, OSAKA 571-8501 JAPAN

電話番号:

06-6908-2974

ファクシミリ番号:

06-6909-0053

加入電信番号:

国籍 (国名): 日本国 JAPAN

住所 (国名): 日本国 JAPAN

氏名 (名称) 及びあて名: (姓・名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載)

孝 橋 靖 雄 KOHASHI Yasuo  
〒819-0052 日本国福岡県福岡市西区下山門 4-16-22-402  
4-16-22-402, Shimoyamato, Nishi-ku, Fukuoka-shi,  
FUKUOKA 819-0052 JAPAN

国籍 (国名): 日本国 JAPAN

住所 (国名): 日本国 JAPAN

氏名 (名称) 及びあて名: (姓・名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載)

森 岩 俊 博 MORIWA Toshihiro  
〒814-0015 日本国福岡県福岡市早良区室見 3-1-1-303  
3-1-1-303, Muromi, Sawara-ku, Fukuoka-shi,  
FUKUOKA 814-0015 JAPAN

国籍 (国名): 日本国 JAPAN

住所 (国名): 日本国 JAPAN

☒ その他の出願人が縦覧に記載されている。

## 第 II 欄の続き 出願人

この第 II 欄の続きを使用しないときは、この用紙を国際予備審査請求書に含めないこと。  
氏名（名称）及びあて名：（姓・名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

東 島 勝 義 TOJIMA Masayoshi  
〒814-0015 日本国福岡県福岡市早良区室見 3-1-1-106  
3-1-1-106, Muromi, Sawara-ku, Fukuoka-shi,  
FUKUOKA 814-0015 JAPAN

国籍（国名）： 日本国 JAPAN

住所（国名）： 日本国 JAPAN

氏名（名称）及びあて名：（姓・名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

九 郎 丸 俊 一 KUROMARU Shunichi  
〒814-0015 日本国福岡県福岡市早良区室見 3-1-1-401  
3-1-1-401, Muromi, Sawara-ku, Fukuoka-shi,  
FUKUOKA 814-0015 JAPAN

国籍（国名）： 日本国 JAPAN

住所（国名）： 日本国 JAPAN

氏名（名称）及びあて名：（姓・名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

大 橋 政 宏 OOHASHI Masahiro  
〒811-2413 日本国福岡県糟屋郡篠栗町尾仲 1100-1-407  
1100-1-407, Onaka, Sasaguri-cho, Kasuya-gun,  
FUKUOKA 811-2413 JAPAN

国籍（国名）： 日本国 JAPAN

住所（国名）： 日本国 JAPAN

氏名（名称）及びあて名：（姓・名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

国籍（国名）：

住所（国名）：

☐ その他の出願人が他の続葉に記載されている。

第三欄 代理人又は共通の代表者、通知のあて名

下記に記載された者は、☒ 代理人 又は ☐ 共通の代表者 として

☒ 既に選任された者であって、国際予備審査についても出願人を代理する者である。

☐ 今回新たに選任された者である。先に選任されていた代理人又は共通の代表者は解任された。

☐ 既に選任された代理人又は共通の代表者に加えて、特に国際予備審査機関に対する手続きのために、今回新たに選任された者である。

氏名（名称）及びあて名：（姓・名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

8181 弁理士 早瀬 憲一 HAYASE Kenichi

〒564-0053 日本国大阪府吹田市江の木町17番1号

江坂全日空ビル8階 早瀬特許事務所

HAYASE&CO. Patent Attorneys,

8F, Esaka ANA Bldg., 17-1, Enoki-cho, Suita-shi,

OSAKA 564-0053 JAPAN

電話番号：

06-6380-5822

ファクシミリ番号：

06-6380-2377

加入電話番号：

☐ 通知のためのあて名：代理人又は共通の代表者が選任されておらず、上記枠内に特に通知が送付されるあて名を記載している場合は、レ印を付す。

第四欄 国際予備審査に対する基本事項

補正に関する記述：\*

1. 出願人は、次のものを基礎として国際予備審査を開始することを希望する。

☒ 出願時の国際出願を基礎とすること。

☐ 明細書に関して

☐ 出願時のものを基礎とすること。

☐ 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。

☐ 請求の範囲に関して

☐ 出願時のものを基礎とすること。

☐ 特許協力条約第19条の規定に基づいてなされた補正（添付した説明書も含む）を基礎とすること。

☐ 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。

☐ 図面に関して

☐ 出願時のものを基礎とすること。

☐ 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。

2. ☐ 出願人は、特許協力条約第19条の規定に基づく請求の範囲について行った補正を無視し、かつ、取り消されたものとみなして開始することを希望する。

3. ☐ 出願人は、国際予備審査の開始が優先日から20日経過後に延期されることを希望する（ただし、国際予備審査機関が、特許協力条約第19条の規定に基づき行われた補正書の受領、又は当該補正を希望しない旨の出願人からの通知を受領した場合を除く（規則69.1(d)）。（この口は、特許協力条約第19条の規定に基づく期間が満了していない場合にのみ、レ印を付すことができる。）

\* 記入がない場合は、1) 補正がない又は国際予備審査機関が補正（原本又は写し）を受領していないときは、出願時の国際出願を基礎に予備審査が開始され、2) 国際予備審査機関が、見解書又は予備審査報告書の作成開始前に補正（原本又は写し）を受領したときは、これらの補正を考慮して予備審査が開始又は続行される。

国際予備審査を行うための言語は、日本語であり、

☒ 国際出願の提出時の言語である。

☐ 国際調査のために提出した翻訳文の言語である。

☐ 国際出願の公開の言語である。

☐ 国際予備審査の目的のために提出した翻訳文の言語である。

第五欄 国の選択

出願人は、選択資格のある全ての指定国（即ち、既に出願人によって指定されており、かつ特許協力条約第Ⅱ章に拘束されている国）を選択する。

ただし、出願人は次の国の選択を希望しない。： .....

## 第Ⅴ欄 附合欄

この国際予備審査請求書には、国際予備審査のために、第Ⅳに記載する言語による書類が添付されている。

1. 国際出願の翻訳文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2. 特許協力条約第34条の規定に基づく補正書・・・・・・・・・・・・・・・・
3. 特許協力条約第19条の規定に基づく補正書  
(又は、要求された場合は翻訳文)の写し・・・・・・・・・・・・・・
4. 特許協力条約第19条の規定に基づく説明書  
(又は、要求された場合は翻訳文)の写し・・・・・・・・・・・・・・
5. 書簡・・
6. その他(書類名を具体的に記載する)：

枚  
枚  
枚  
枚  
枚  
枚

## 国際予備審査機関記入欄

受 領

未 受 領

☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐

この国際予備審査請求書には、さらに下記の書類が添付されている。

1. ☒ 手数料計算用紙
2. ☐ 別個の記名押印された委任状
3. ☐ 包括委任状の写し
4. ☐ 記名押印(署名)に関する説明書
5. ☐ スクレオチド又はアミノ酸配列表  
(スクレキシダルディスク)
6. ☐ その他(書類名を具体的に記載する)：

## 第Ⅶ欄 提出者の記名押印

各人の氏名(名称)を記載し、その次に押印する。

早 瀬 憲 一



## 国際予備審査機関記入欄

1. 国際予備審査請求書の実際の受理の日

2. 規則 80.1(b)の規定による国際予備審査請求書の受理の日の訂正後の日付

3. ☐ 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理。ただし、以下の4、5の項目にはあてはまらない。 ☐ 出願人に通知した。

4. ☐ 規則 80.5により延長が認められている優先日から19月の期間内の国際予備審査請求書の受理

5. ☐ 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理であるが規則82により認められる。

## 国際事務局記入欄

国際予備審査請求書の国際予備審査機関からの受領の日：